

市民の皆様へ

新型コロナウイルス感染防止対策にかかる南相馬市長メッセージ

9月1日以降、市内では本日までに11名の新型コロナウイルス陽性者が確認されています。

複数のグループで感染が確認されており、市では、更なる感染の拡大に強い危機感を持って対応しています。

市民の皆様におかれましては、マスクの着用など新しい生活様式の再確認と徹底を、各事業者におかれましては業種毎のガイドラインの再確認とそれに基づく対策の徹底を改めてお願いします。

大変残念なことですが、新たな感染者の確認が続く中、感染者の特定や、感染者への誹謗・中傷等が社会問題となっています。原発事故後に心無い偏見にさらされた私たちだからこそ、感染者を差別したり、責めたりする側にならないよう、落ち着いた行動をお願いします。

市民一丸となって、この困難、難局を乗り越えてまいりましょう。引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年9月11日 午後8時00分現在

南相馬市長 門馬和夫

南相馬市における新型コロナウイルス陽性の確認状況

＜令和2年9月1日～＞

令和2年9月11日 20時現在

【環境省発注工事に従事する作業員（同じ宿舎）】


15  県内167例目
30代男性
9/1判明

17  県内172例目
20代男性
9/3判明

18  県内175例目
30代男性
9/5判明


20  県内181例目
50代男性
9/8判明

- ・浪江町での家屋解体作業を担当。
- ・業務の遂行上、一般の不特定多数の者との接触はない。
- ・陽性者との接触が疑われる者についてPCR検査の結果、陰性を確認済。


16  県内171例目
40代女性
9/3判明
(無職)


- ・陽性者との接触が疑われる者について、PCR検査の結果、陰性を確認済。

【市内企業】


19  県内180例目
20代男性
9/8判明
(会社員)

- ・陽性者との接触が疑われる社員、接触はないが念のため検査を実施した営業職社員について、PCR検査の結果、陰性と確認済。


21  県内184例目
60代男性
9/8判明
(自営業)

23  県内189例目
30代男性
9/10判明
(会社員)


- ・市内21例目、23例目の方との接触が疑われる者については、すべてPCR検査済。
- ・22例目の方の濃厚接触者について、相双保健所が把握し検査中。

24  県内191例目
60代男性
9/10判明

- ・濃厚接触者等について、相双保健所にて調査中。

25  県内200例目
50代男性
9/11判明

- ・濃厚接触者等について、相双保健所にて調査中。

00  } 市内〇例目

新型コロナウイルス感染症の患者や、その関係者、治療にあたる医療従事者、他県からの来訪者等に対して、デマが拡散され、差別や偏見、誹謗中傷等人権が脅かされる事例が見られます。

県では、新型コロナウイルス感染症対策本部に電話相談窓口を設置し、被害を受けた県民を対象に、被害解決のための支援を行っています。

新型コロナウイルス感染症に関する

誹謗中傷等被害相談受付

☎ 024-521-8647

発熱等の体調不良を感じたら

市では、市立総合病院敷地内に『発熱等トリアージ外来』を設置しています。

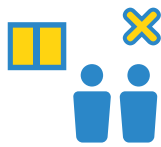
以下に該当する方は予約のうえ受診ください。

- 診察対象：南相馬市に居住する方又は南相馬市に所在する事業所等に勤務する方で、発熱等を有する高校生以上の方
- 受付方法：事前に電話で予約をしてください。
電話番号 0244-22-3185（平日 9時～12時）

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために

新しい生活様式

の定着に、ご協力をお願いします。



密閉は避ける



密集は避ける



密接は避ける



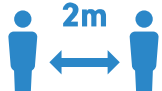
正面は避ける



移動先の
感染状況に注意



こまめに換気



距離を取る



(状況に応じて)
マスクの着用



咳エチケット



手洗い・
手指衛生



出かける前に
体温測定



熱や風邪の症状が
ある場合は外出しない



誰とどこで
会ったかメモ



オンライン活用
(通販やテレビ会議)



買い物は
少人数で



電子決済の利用



テイクアウトや
デリバリー活用



料理は
個別の皿に



会話は控えめに



テレワーク
(在宅勤務)



時差通勤



自転車や
徒歩での移動



接触確認アプリ
の活用

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐためには、今後も長い期間の対策が必要です。そのため、私たち一人一人がこれまでの日常生活の行動を変え、上記実践例を参考に「新しい生活様式」を定着させていくことが大切です。

福島県

新しい生活様式 福島県 | Q

